

An aerial photograph of a large, dark blue lake, likely Khovsgol Lake, set against a backdrop of rugged, mountainous terrain. The surrounding landscape is a mix of green and brown, indicating dense forests and rocky or sparsely vegetated areas. The lake's shape is irregular, with several smaller inlets and peninsulas. The text is overlaid on the right side of the lake.

SSER Raid Trek series
THE NEXT Khovsgol ADVENTURE 2024

大会名称
SSER Raid Trek series
THE NEXT Khovsgol ADVENTURE 2024

開催期間：2024年 8月24日(土)～9月2日(月)

「フブスグル湖へ」

水を巡る地球の冒険の旅。

どうしても訪ねたい場所があった。ユーラシアの最奥。大河の森に囲まれた奇跡の湖フブスグルに行くのだ。周囲にはトナカイの遊牧民たちがいて、太古から続く生活をしている。

いったいどんなところだ。フブスグルとは「青い水」という意味だ。その水の透明度は驚きだという。内陸湖の多くが塩湖なのに、ここは清澄な淡水に満ちていて、処理せずにそのまま飲める。美しい驚きにあふれている。いくつかの島に渡れるかもしれない。シベリアの大森林地帯タイガの明るいカラ松の森を散策したい。

どうして人々はこの豊かな水の畔に都市を築かなかったのだろう。古代湖フブスグルに写す荘厳な星空の下で、酒を飲もう。





スケジュール

エントリー受付開始

2024年01月25日

エントリー参加締め切り

2024年03月20日

日本国内船積手続

2024年05月25日ごろ予定

※この日程は、税関業務などの都合で変更する可能性あり

DAY1	8/24	日本- ウランバートル	Air	日本各地からウランバートルへ（旅行会社手配）ホテルにて出発準備とブリーフィング	ウランバートル ホテル泊
DAY2	8/25	ウランバートル- ボルガン	440km	まずは足慣らし舗装路でボルガンへ。なにか懐かしい姿の街を見る。	ボルガン ホテル泊
DAY3	8/26	ボルガン- ハトガル	380km	いよいよフブスグル南岸の街に着く。ドキドキする。	ハトガル ホテル泊
DAY4	8/27	ハトガル- Turt(タート)- フブスグル湖	170km	素晴らしい1日。左手に湖を見ながら波打ち際を走ったり、小高い丘の上から湖を見下ろす。美しいロケーションのツーリストキャンプに着く。	フブスグル湖 ツーリストキャンプ泊
DAY5	8/28	フブスグル湖		フブスグル湖に終日遊ぶ。	フブスグル湖 ツーリストキャンプ泊
DAY6	8/29	フブスグル湖 Turt(タート)- ムルン	270km	再び走り出す。	ムルン ホテル泊
DAY7	8/30	ムルン- ダルハン	580km	幹線の走るダルハンに戻る。いろいろなルートも考えられる。森と草原の中を行く。	ダルハン ホテル泊
DAY8	8/31	ダルハン- ウランバートル	230km	これまでのアルタイアドベンチャーのように国内線でピューツと帰るという手もあったが、余韻を楽しむためにももう少しモンゴルの道を楽しもう。	ウランバートル ホテル泊
DAY9	9/1	ウランバートル		自由行動	ウランバートル ホテル泊
DAY10	9/2	ウランバートル- 日本	Air	午前の便で日本へ	

エントリー費

	エントリースタイル	エントリー費	ビークル費(輸送費他)	
A	マイモーターサイクル	¥398,000	モーターサイクル 400cc未満の車両	¥430,000
			モーターサイクル 400cc超1000cc未満の車両	¥480,000
			モーターサイクル 1000cc超の車両	¥530,000
B	ドライバー付き4×4同乗者	¥398,000		

旅行パッケージ費

旅行パッケージ 全員が必要	¥ 298,000	航空機+宿泊など旅行費用は指定旅行代理店に支払う。同封のオールインクルーシブパッケージにて指定旅行代理店へお申し込みください。
------------------	-----------	---

- ※4×4は現地で用意するものはTOYOTAランドクルーザー100又は同等のマシン
- ※サポートは1台のカミオンと、2台のピックアップマシンがサポートします。

エントリー費の払い込み

2024年03月20日まで	398,000円
2024年05月15日まで	ビークル費

振込指定銀行

愛媛銀行 久米支店 普通預金 3311632 SSER 代表 山田徹 (エスエスイーアール ダイヒョウヤマダテツ)
--

エントリー費に含まれるもの (G:旅行代理店手配分も含む)

- 日本-ウランバートルの往復航空運賃、現地国内線の運賃(エコノミークラス)
- 日本から車両の輸送および通関作業費用、税金
- 2024年8月24日から9月2日までの宿泊の料金及び税・サービス料金 (2人部屋に2人ずつの宿泊を基準とします。テント泊、ツーリストキャンプの場合は複数の人数になります。)
- 2024年8月24日夕食から9月2日朝食の食事の料金 (2024年9月1日昼食のみ含まれない)
- モンゴル国内運転免許証の取得の費用
- モンゴル国内の通行料
- ガソリン代

エントリー費に含まれないもの

- 車両本体代金
- 車両の登録費用
- 超過手荷物料金
- クリーニング代、電話電報料、ホテルのボーイ・メイド等に対する心付け、その他追加飲食等個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金
- オプションツアー料金
- 海外旅行傷害保険の費用
- 2024年9月1日昼食

エントリーの拒否と取り消し

エントリーの取り消し、払い戻しの請求はメール等文書で行います。

取り消しによるエントリー費の返還は以下の通りといたします。

2024年5月15日以前に取り消せば全額の30%を払い戻しますが、それ以降の払い戻しは出来ませんのでご注意ください。

5月15日までに以下のものを提出しなければならない。

- ① エントリーフォーム
- ② 誓約書・健康管理届
- ③ 少なくとも2025年4月まで有効なパスポートのコピーを1通
- ④ 国際運転免許証（2024年10月31日まで有効なもの）
- ⑤ 国内運転免許証のカラーコピーを1通
- ⑥ 顔写真2枚（サイズ4.0cm×3.0cm）必ずカラー
- ⑦ 車検証、登録証、抹消登録証のいずれかの書類（本通）未登録車両はご連絡ください。（レンタルモーターサイクルにて参加の場合は不要です。）
- ⑧ エンジン番号を石刷りまたはエンジン番号を撮影した写真（レンタルモーターサイクルにて参加の場合は不要です。）
- ⑨ 輸送のための誓約書、委任状 各1通（レンタルモーターサイクルにて参加の場合は不要です。）

装備品規定：

- ① 2014年4月1日以降に生産されたヘルメットでSNELL 2000以上の規格またはJIS規格適合品
*但し「用途（125cm³未満の旨）」の表示品は使用できない。また上記を満たしていても大きな損傷のあるものは使用できない。フルフェイスタイプのヘルメットが義務づけられる。
※モーターサイクル参加者のみ
- ② 充分なプロテクション効果を持った脊椎パット。肩、鎖骨、胸部、及び腹部のパットが義務づけられる。腹部は一般的にいうウエストベルトでも構わない。※モーターサイクル参加者のみ
- ③ サングラス、帽子、ダウンジャケット、マウンテンブーツ（MXブーツとは別に）
- ④ シュラフ（フルシーズン用）
- ⑤ 懐中電灯2ケ（ヘッドランプタイプ×1、マグライトタイプ×1）
- ⑥ メディカルキット
目薬、鎮痛剤、2種類の下痢止め、抗生物質、包帯、絆創膏、リップクリーム、ビタミンC剤、塩化ナトリウム、消毒薬
- ⑦ サバイバルキット
マグネチックコンパス、アルミシート(2m×1m以上)1人当たり1枚、レインウエア（一定以上の性能のもの）タイダウンベルト2組※モーターサイクル参加者のみ
- ⑧ 通信設備
144MHz帯VHF/FMのトランシーバーの携行をすすめる。
- ⑨ GPSはモーターサイクル参加者はご用意ください。
集合場所や目的地をGPSポイントで指定する場合があります。

医療：この行程は極めて辺境の地であることを認識し、リスクが高いことを認識する必要がある。自身の起こした事故等は全て各自の責に帰し、主催者は最善を尽くすがそれらによって発生した費用および損害は全て参加者が負担しなければならない。

装備：厳冬期と秋のシーズンの2Wayの装備が必要である。一定の重量は主催者に預け入れてきるが、それを超えたものは各自が車載などをしなければならず、効率よくかつ軽量のものを装備すること。これらに関しては主催者がコンサルティングを行う。

精神：このイベントは、世界のもっとも辺境の地のひとつに行くものであり、常に大きなリスクがあることを認識することが必要である。主催者の指示に従い、これが出来ないものは、失格の処分を受けることがある。その場合は各自の努力でゴールへ向かわねばならず、その際にかかる費用は全て参加者が負う。主催者は参加者の安全に最善を期すが、あくまでも負傷等は各個人の責任で処するべきである。

この大会への参加はまた環境への十分な配慮と、参加者間のチームワークの発揮が肝要である。

フブスグルアドベンチャーQ&A

Q:どのような種類の旅ですか？

A:これまでのラリーレイドの概念をもとに長距離、長時間のライディングでひたすら北西の彼方へ向かうものです。厳しさと楽しさ、多くの要素が盛り込まれています。

Q:どのようなルートで計画しているのですか？

A:「ウランバートルを出発して、北に向かいます。ロシア国境に向かう舗装路でシベリア・タイガの森の南の裾。これまでのモンゴルの姿が一変するかもしれません。

Q; 気温が心配ですがいかがですか？

A; 「シーズンの的には夏が終わっています。日本で言うと11月くらいでしょう。晴れた昼間は暖かいのですが、ひとたび天候が崩れると気温は一気に0℃まで下がります。特にモーターサイクルで参加をお考えの方は、雨具やインナーウェアをご検討ください。目的地の夜間は氷点下になります。少し防寒具の準備が必要でしょう。」

Q;どんなバイクやクルマが参加できますか？

A; 「バイクはラリーマシンでなくて大丈夫です。今回は車の参加はできません。スタッフの車に同乗するという選択もあります。レンタルバイクはすでに予約で終了しています、というか1台しかなかったの」

Q;なぜフブスグルなのですか？

A; 「SSERでは、人生最大の旅を提供してまいりました。ユーラシア大陸横断などです。そしていつも気になっていたのが地球をめぐる水の問題でした。モンゴルとロシアの国境にある巨大な湖、ひょっとしたら地下でバイカル湖とつながっているのではないかという大胆な仮説を立て、ラリーでは踏み込めない保護区であるこのエリアに、なにかがある、そう思っています。そこにどんな冒険と発見が待っているのか。水をめぐる研究をしている山田が、地球をめぐる水問題を解説しながら旅をします」